

令和4年度 事業報告

日本全体の少子高齢化が進行し、労働力不足や会員の高齢化など、シルバー事業に対する環境の変化も顕著に見られるようになりました。“新型コロナウイルス感染症拡大対策”により、研修や活動など縮小を余儀なくされて3年目の令和4年度、様々な規制の中で“働き方の選択肢を拡げていくこと”を目標に、シルバー会員の各組織と、役員、事務局が一丸となり、会員の就業規程の整備や、安全の確保のための対策、独自事業の更なる推進など、「今できる事」に尽力してまいりました。

令和4年度のシルバー受託事業（請負・委任事業）の実績は、前年比111,066円増の209,335,972円。

派遣事業は、前年比941,525円増の33,786,224円となり、事業実績総合計は243,122,196円と前年比1,052,591円の実績増となりました。

しかし、法律の改正による「70歳までの就業機会確保の努力義務」や、民間企業における75歳までの再雇用の拡大などによる『再就職』を理由に退会会員数の増加等が見られ、令和4年度末会員数は前年度比14名減となる376名となってしまいました。

その中において、昨年9月“地域に貢献すると共に、社会におけるシルバー女性の機運を高める役割を果たすこと”を目的に『女性の会さくら咲楽』を創設。習い事教室や講習会の開催、地域のフェスタへの参加など、常に積極的な活動を推進。センターHPやセンター広報誌などにより情報を発信することで、女性会員新規入会者数が前年度11名だったものが、本年度21名となったことは大きな功績となりました。

それと併せ、令和4年度はコロナ禍にありながらも、次に挙げる様々な事業に着手致しました。その功績は、全国シルバー人材センター事業協会より「優良シルバー」として会長表彰を受ける事へと繋がりました。

1 安全・安心な作業づくりの推進

安全管理委員会が策定した『安全就業対策基本計画』に沿って、次の3項目を重点に、事故を未然に防ぐための環境の改善に努めました。

- ① **就業前の安全確認の徹底**として、「就業確認会員チェックシート」・「安全点検表」を有効に活用することと、作業前の指差し呼称を作業員全員に徹底すること、また、草刈り飛散防止用プロテクターの使用確認を作業前に確認することとしました。
- ② **KY（危険予知）活動の推進**として、「うっかり・ぼんやり」による事故を防ぐため、KY（危険予知）の習慣づけとして、一緒に作業する会員同士の安全に対する情報交換を目的に、作業毎に記入する『毎日情報交換』を義務づけました。
- ③ **健康な体力の維持**として、事故が多い剪定・草刈り・除草就業会員を対象として、自身の身体能力の自覚を促すために、今年も「体力測定会」をおこないました。

事故報告

令和4年度事故発生件数は、次のとおりとなり前年度より減少致しましたが、今年度も“事故ゼロ”は達成する事は出来ませんでした。

	件数	事故発生作業種別
賠償事故	2件（前年度3件）	草刈り1件, 除草1件
傷害事故	3件（前年度3件）	剪定1件, 屋外作業2件

2 適正就業ガイドラインを活用した事業普及啓発

厚生労働省がまとめたシルバーの「適正就業ガイドライン」を、新規の発注者に詳細を説明し充分理解して頂くことに努めました。

また、総務委員会の提案のもと、「適正就業ガイドライン」を会員の身近なものとして、いつでも持ち運び可能なカード形式にまとめ、全会員に配布しました。

3 多様な就業ニーズに対応した働き方の推進

総務委員会により、長年継続契約している業務内容が、シルバーの適正な就業に沿っているのか、また、規程も併せ改善できることがないのか等審議をおこないました。

また、独自事業である「農園・残材粉碎事業」を進めていく中で、新規取り組みとなる地域保育園の秋フェス（おまつり）へ出店参加。

農園就業会員が出店する野菜屋さん「グラン・ペペ（フランス語でおじいちゃん）」が、シルバー農園で収穫したさつまいもを販売。“さくら咲楽”の女性会員が出店する「グラン・メメ（フランス語でおばあちゃん）」が、かわいいバッグやお手玉・髪留めなどを手作りし販売し子供たちや保護者の方との地域交流を計りました。

冬には、シルバー果樹園において長与町「グリーンツーリズム（農業体験型観光）」事業とのタイアップにより、3日間のみかん収穫体験を実施。保育園園児や、町外からの来場者とのふれあいをおこないました。

4 普及啓発事業の積極的な展開

総務委員会が取材・撮影・編集を一手に担い、年2回発行している「シルバー広報にしそのぎ」も令和4年度12月発刊にて第10号目となり、発刊毎にグレードアップされていることもさることながら、全世帯や公的施設、人流があるところへの配布をおこなうことで、「シルバー広報にしそのぎ」を見て入会される方が前年比2倍増となりました。

また、センターの各会員組織から会員への、情報提供や周知、活動報告などをタイムリーに発信するため、3か月程度に1回ほど“委員会だより”の発行を開始しました。

その他、毎月初めの平日に開設される「時津町相談窓口（時津町役場内）」についても、会員はもとより新規入会者、および町民の方々に、広く利用して頂くことができ、延べ147名の方が利用しました。

会員入会説明会は、随時対応可能な体制をとっており、様々な普及啓発が功を奏した為、入会率は前年度比6.8%のアップとなりました。

会員と就業機会の拡大を図るため、「国」から「長崎県シルバー人材センター連合会」への委託事業となる“高齢者活躍人材確保育成事業”を活用し、新入会員募集チラシや町民の方へも広く周知しメイクアップセミナー、剪定講習会を開催いたしました。

5 地域社会における存在意義を高めるための組織強化

“コロナ感染症”が流行をはじめた令和2年2月、女性会員総勢13名が、超短期間に大量のマスク作成の受注生産を達成しました。その活躍を機にもちあがった女性の会の創設でしたが、その後の感染症の拡大等により、創設のための準備委員会もままならず、2年半越しの令和4年9月、女性の会創設にたどり着くことが出来ました。

イメージカラーは「桜色」。女性ならではの、華のある素敵な活動推進を目指し、習い事教室や講習会、地域フェスタへの参加など日々活躍を続けています。

開催を待ち望む声が上がっている「シルバーいろは講習」も、コロナ感染症拡大予防のため大幅に縮小となり、令和4年度も屋外で開催する“野菜づくり講座”のみの開催となりました。

そんな状況の中でも、つどいの会では「ウォーキング」や「ゴルフ」など屋外で実施できる会は、状況を見ながら活動を続けてまいりました。

また、各町グラウンド・ゴルフ協会様のご協力のもと、「シルバー杯」と銘を打っての、町民参加型のグラウンド・ゴルフ大会を、長与町・時津町にて開催。初めての大きなスポーツ大会開催に、町施設、団体や多くの会員の協力がありました。

年度末には、各地区において“会員継続更新手続きおよび会員研修会”を開催することが出来ましたが、「地域班（11地区）と事務局との情報等連携強化のための懇談会」は叶わず、会員の声を直接聞く機会を設けることは出来ませんでした。そのため全会員へアンケートを配布し、今後のセンターの実となりうるご意見を頂くことが出来ました。

派遣事業の推進など、長崎県シルバー人材センター連合会と情報交換し連携を図りました。また長崎県シルバー人材センター連合会主催の研修会や会議などに、職員とともに会員役員なども積極的に参加し、シルバー人材センターの問題点など今後の発展に繋がる意識の共有が出来ました。

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	8,012,075	1,884,732	6,127,343
未収金	15,891,679	15,841,057	50,622
仮払金	21,450	2,280	19,170
立替金	0	0	0
前払金	0	0	0
内部立替金	0	0	0
流動資産合計	23,925,204	17,728,069	6,197,135
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,508,843	8,224,328	284,515
減価償却引当資産	5,392,602	5,864,867	△ 472,265
財政運営資金積立資産	2,000,000	2,000,000	0
30周年記念式典事業積立資産	1,908,000	1,590,000	318,000
事務所増改築工事費用積立資産	6,828,000	5,690,000	1,138,000
特定資産合計	24,637,445	23,369,195	1,268,250
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	3	3	0
什器備品	1,298,000	1,098,349	199,651
電話加入権	75,396	75,396	0
預託金	16,360	16,360	0
その他固定資産合計	1,389,759	1,190,108	199,651
固定資産合計	26,027,204	24,559,303	1,467,901
資産合計	49,952,408	42,287,372	7,665,036
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	16,332,107	14,610,349	1,721,758
前受金	742,000	748,000	△ 6,000
預り金	131,196	24,764	106,432
仮受金	0	58,817	△ 58,817
流動負債合計	17,205,303	15,441,930	1,763,373
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,508,843	8,224,328	284,515
固定負債合計	8,508,843	8,224,328	284,515
負債合計	25,714,146	23,666,258	2,047,888
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	24,238,262	18,621,114	5,617,148
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(16,128,602)	(15,144,867)	(0)
正味財産合計	24,238,262	18,621,114	5,617,148
負債及び正味財産合計	49,952,408	42,287,372	7,665,036

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	206,441,356	206,625,841	△ 184,485
受取配分金	176,266,911	177,489,946	△ 1,223,035
受取材料費等	9,092,530	7,893,258	1,199,272
受取事務費	21,081,915	21,242,637	△ 160,722
独自事業収益	927,696	744,745	182,951
受取配分金	559,356	404,733	154,623
受取材料費等	248,328	259,417	△ 11,089
受取事務費	120,012	80,595	39,417
労働者派遣事業等受託収益	3,260,317	2,967,041	293,276
労働者派遣事業等受託収益	3,260,317	2,967,041	293,276
受取会費	868,000	878,000	△ 10,000
正会員受取会費	868,000	878,000	△ 10,000
受取補助金等	32,016,000	30,533,826	1,482,174
受取連合交付金	16,008,000	15,008,000	1,000,000
受取町補助金	16,008,000	15,525,826	482,174
雑収益	128,773	7,423	121,350
雑収益	128,773	7,423	121,350
経常収益計	243,642,142	241,756,876	1,885,266
(2) 経常費用			
事業費	232,687,442	234,410,894	△ 1,723,452
支払配分金	177,291,746	178,164,263	△ 872,517
支払材料費等	8,876,076	6,917,349	1,958,727
給料手当	23,683,023	27,760,062	△ 4,077,039
臨時雇賃金	1,133,266	1,048,342	84,924
法定福利費	3,682,787	4,197,730	△ 514,943
退職給付費用	1,680,512	1,817,214	△ 136,702
福利厚生費	188,104	120,017	68,087
会議費	97,142	69,984	27,158
旅費交通費	538,440	437,480	100,960
通信運搬費	1,553,702	1,731,191	△ 177,489
減価償却費	263,885	923,672	△ 659,787
什器備品費	94,644	0	94,644
消耗品費	1,177,824	1,204,827	△ 27,003
修繕費	0	9,845	△ 9,845
印刷製本費	878,075	470,140	407,935
光熱水料費	403,163	392,993	10,170
賃借料	1,806,673	1,787,155	19,518
保険料	1,889,788	1,830,833	58,955
諸謝金	158,268	97,500	60,768
租税公課	856,000	591,250	264,750
支払負担金	0	0	0
組織活動助成費	1,251,087	266,999	984,088
委託費	4,521,250	4,186,762	334,488
訓練委託費	40,000	77,550	△ 37,550
支払手数料	0	203	△ 203
雑費	621,987	307,533	314,454

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	5,337,552	7,187,902	△ 1,850,350
役員報酬	1,200,000	1,400,000	△ 200,000
給料手当	1,058,525	1,332,254	△ 273,729
法定福利費	351,803	439,920	△ 88,117
退職給付費用	120,365	142,815	△ 22,450
福利厚生費	19,118	26,387	△ 7,269
会議費	22,569	95,000	△ 72,431
役員等旅費交通費	190,200	134,000	56,200
旅費交通費	7,960	5,800	2,160
通信運搬費	208,614	208,134	480
減価償却費	42,464	85,296	△ 42,832
什器備品費	10,516	0	10,516
消耗品費	65,663	38,326	27,337
修繕費	0	0	0
印刷製本費	363,825	610,610	△ 246,785
光熱水料費	44,780	43,663	1,117
賃借料	120,993	115,568	5,425
保険料	85,273	74,768	10,505
租税公課	340,562	1,446,314	△ 1,105,752
支払負担金	277,800	264,300	13,500
委託費	424,748	391,743	33,005
雑費	381,774	333,004	48,770
経常費用計	238,024,994	241,598,796	△ 3,573,802
評価損益等調整前当期経常増減額	5,617,148	158,080	5,459,068
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,617,148	158,080	5,459,068
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	249,999	△ 249,999
車両運搬具売却益	0	249,999	△ 249,999
退職給与引当金戻入	0	0	0
退職給与引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	0	249,999	△ 249,999
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
車両運搬具除却損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
過年度損失修正	0	0	0
過年度減価償却修正	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	249,999	△ 249,999
当期一般正味財産増減額	5,617,148	408,079	5,209,069
一般正味財産期首残高	18,621,114	18,213,035	408,079
一般正味財産期末残高	24,238,262	18,621,114	5,617,148
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	24,238,262	18,621,114	5,617,148